

**質問  
その後** 2022年4月施行に向けて  
「浜松市犯罪被害者等  
支援条例」を制定!

2020年11月議会で「犯罪被害者支援に特化した条例を制定する考えはないか」「給付金を創設つもりはあるか、またその対象者にパートナーシップの宣誓をしたカップルを入れるべきかどうか」と質問をした。

あれから、1年。「犯罪被害者等支援条例」が4月からの施行に向けて、進んでいる。

浜松市の条例の特徴としては、対象となる犯罪被害者として国外での事件や性犯罪を含んでいること、遺族見舞金が生活支援助成(家事補助・配食・保育費等)を含んで60万円であること。そしてその対象者として、パートナーシップ宣誓制度でカップルになった人も含んでいることだ。

\* 担当者と、給付金の使いやすさ、対象者について、何度も話しあったことが実を結んだ。

**市民の財産、  
命を守る鴨江雨水調整池**

鴨江にある、かもえ児童遊園(どんぶらこ公園)の地下に、大型の浸水被害防止のための大型調整池があるのをご存知ですか?

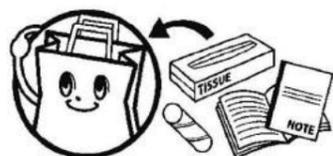


今回、鈴木ゆきこ議員と一緒に、その調整池を見学する機会を得ることができた。

昭和49年の七夕豪雨などで、鴨江地域は大きな床上、床下浸水被害を受けた。浸水解消の一つとして、平成8年に約43億円をかけて、鴨江雨水調整池ができた。

狭いマンホールを降りると、25,000㎡の広い調整池内部が広がり、まるで神殿跡のよう。大雨が降り、鴨江排水路の水位が上がると、排水路から調整池に流れるようになっていて、今年度もすでに2回流入してきたそうだ。排水路の水位が下がってくると、調整池に設置してあるポンプで溜まった水を汲み上げ、排水路に戻すとのことだ。

これからも現場を大事にしていきます。



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ



**浜松市政向上委員会  
レポート** Hamamatsu shisei  
improvement committee report



**9月議会  
一般質問  
特集!**

**川から流れるマイクロ  
プラスチックを削減しよう**

めぐみ



昨年度、政務活動費を使い、馬込川の4地点でマイクロプラスチックの浮遊状態を調査した。その結果、「人工芝」とわかるマイクロプラスチックが認められた。公共施設の人工芝の利用状況は。

【回答】

200㎡以上の人工芝を有する市有施設を調査したところ、21箇所、約10万㎡の面積で施行されていた。そのうち、比較的規模の大きな3施設を現地調査したところ、実際に人工芝の破片が側溝や集水枡に堆積していた。

めぐみ



スポーツ施設、例えば浜北平口サッカー場(サーラグリーンフィールド)で利用している人工芝の管理を今後どのようにしていくのか。



<人工芝がところどころ剥がれている浜北平口サッカー場>

【回答】

今後、スポーツ施設の周囲の側溝に「集塵フィルター」を試験的に設置していく。浜北平口サッカー場は、耐久性のある人工芝への更新を検討していく。

▼その後

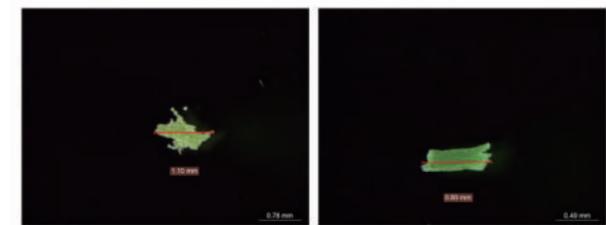
議会終了の2ヶ月後、浜北平口サッカー場と花川テニス場に、「集塵フィルター」を設置する工事を始めるとの報告があった。いい結果が出て、他の自治体にも波及してくれるようになるといいなあ。



\*マイクロプラスチック

直径5mm以下の小さなプラスチック。川に流れたマイクロプラスチックは、そのまま海に流れ、有害な化学物質を吸着し、誤って飲み込んだ鳥や魚、ウミガメなどへの影響が懸念されている。マイクロプラスチックごみは、海洋の汚染だけでなく、海に生きる生物、漁業や観光などの産業、そして私たちの体にまで影響を与える。プラスチック問題を環境問題とだけと捉えることなく、産業の問題、健康問題としても考えていきたい。

人工芝と推定されるプラスチック(PP)



浜松市議会 浜松市政向上委員会 鈴木 恵

編集・発行 浜松市政向上委員会 代表: 鈴木 恵

浜松市中区元城町 103-2 浜松市議会内 TEL/053-457-2479  
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-457-2489

メールは  
こちらから▶



## 子育て世代を全力で応援するまちに

### 汚れたおむつの持ち帰り やめられないか？

**めぐみ** 0歳、3歳の子どもを保育園に預けているママから、通っている園は園で汚れたおむつを処分するのではなく持ち帰りとなっていて、衛生面への不安、親の負担軽減などからおむつの持ち帰りを「やめることはできないか」という相談を受けた。一方園では、保育士は使用済みおむつの名前を確認し、神経を使って違う子の袋に入れられないようにしており、負担がさらに増えている状態だ。保育所の汚れた紙おむつ、布おむつの持ち帰りの現状はどうなっているのか。市立保育園の紙おむつの持ち帰りをやめ、園で処理する方向にならないか。また民間の認可保育園に対して、園でのおむつ処分に支援をしていくことができないか。

#### 【回答】

おむつ持ち帰りは、認定こども園と保育所で約6割、地域型保育所で約3割の園で持ち帰りが行われている。市立保育園でのおむつ処分は、廃棄物の収集回数の増加、使用済みおむつの保管場所の確保等が課題。重要性や優先度、効果などを見極める必要があるため、調査研究していく。

1 2 3  
4 5  
数字は語る！

110人

◀2020年の浜松市の自殺数。そのうち未成年・学生は5人。自損行為による救急搬送は、291件。

53%

◀認可保育施設195施設のうち、洪水や津波の浸水想定区域内に立地している施設は53%の104施設、土砂災害警戒区域内に立地しているのは6施設。  
\*避難確保計画を確認し、必要に応じて助言し、研修会等を実施していく。

### 小学校低学年でも男女別の 部屋で着替えられるように

**めぐみ** 小学生のママから「子どもの学校では、低学年は男女同室での着替えが行われている。子どもが嫌がって別室にして欲しいけど」との相談があった。政府は幼児期からの性被害防止教育の実施などを盛り込んだ性暴力対策強化案を公表している。そして、低学年には水着で隠れる「プライベートゾーン」を他人に見せたり、触らせたりしないよう指導する教材をつくることになっている。市内の小学校の男女同室での着替えの現状はどうか。また、今後の対応はどのようにするのか。

#### 【回答】

およそ8割の学校で、1、2年生が男女同じ教室で着替えをしている。多様な性のあり方に対する認識が高まっていることから、必要に応じて個室の更衣スペースを利用できるよう、配慮している。カーテンや仕切りなどを設置している事例を各学校に周知し、発達に応じた対応、人権への配慮をし、学校で安心して着替えることができるように努めていく。



## 持続可能で、豊かな浜松を



浜松は森、里、川、海と豊かな自然に囲まれており、農林水産業、観光業、飲食業などの産業は、豊かな自然から大きな恩恵を受けています。市民もマリンスポーツをはじめ、癒しやリフレッシュできる場を身近で享受することができます。さらに、森林は、私たちに生きていくのに必要なきれいな空気、そして水を提供しています。その一方で、所有者のわからない森林、経済的に適さず管理が行き届かない荒れた森林があります。過疎化や少子高齢化が進む中、相続したがどう管理したらいいかわからない、あるいは森林整備の仕方がわからなくて放置しているなど、森林経営が適切に行われていない森林があり、そのまま放置すると土砂崩れや山火事を起こす可能性があります。また、中田島砂丘では、侵食が進み、砂の量が少なくなり、昔と大きく姿を変えています。完成から年数が経っていない防潮堤ですが、上に被せていた砂が風によって、飛ばされ、下地が見えてしまい、さらに、えぐれてしまっているところもあります。防潮堤建設に



使われた砂が露出し、大きな石やコンクリートくず、さらにはガラス片が目につくようになってきています。海岸には、多くのゴミが落ち、海洋プラスチックの問題が危惧されてきています。砂が飛んでいき、残ったのが瓦礫ばかりとなり、草が生えて、草原のようになっているところもあります。中田島砂丘ではなく、中田島砂丘跡や中田島草原って呼ばなくてはならない時がくるのではないかと不安の声が上がっています。浜名湖の牡蠣、アサリ、海苔などの不漁が続いています。このまま自然の資源活用だけを進めていくと、浜松の豊かな資源を使い尽くし、なくなってしまうのではないかと心配になります。地域資源の活用、享受だけを考えていては、私たちにめぐみを与えてくれる自然は、100年、200年と持続可能ではありません。浜松市は、森、里、川、海が一体となった対策が可能な都市です。自然豊かな浜松を持続可能にしていくためには、活用だけでなく、景観や自然環境との調和、環境と経済のバランスのとれた街にしていくことが重要です。浜松が100年200年後も自然豊かで、市民が幸せに暮らせる持続可能な街であり続けられることを願い、活動していきます。

#### 【その他の質問項目】

- 発達支援学級の中学卒業後の進路について
- 自殺対策「生きるための包括支援」

